

子ども 老人 障害者 ひとり親世帯

八幡市の医療費無料化、軽減制度

国が敵視し
国保補助金を削減
八幡で年間5100万円

今までは、市が
減額分を補てん

八幡市が
方針変更 補てんせず

国保料に跳ね返る危険

八幡市は、子どもの医療費無料化や老人、障害者、ひとり親家庭の医療費負担を軽くするため、市独自に無料または軽減しています。こうした自治体にたいし、国は「医療費が増える」と難くせをつけ、全国の自治体に国民健康保険への補助を削減していました。八幡市では、年間5100万円もの減額になります。

八幡市は、市民の負担を増やさないため、医療費軽減への国のペナルティ分を補てんしていました。ところが8日の本会議で、昨年度末の決算に向けて市が提出した補正予算案には、国のペナルティ分を一般会計から繰り入れる措置を停止しました。市は3月議会でも、今後の国保の財源補てんの繰り入れを停止しており、今回はその前倒しになります。

福祉切り捨てを市民に転嫁

国が国民健康保険の補助を減額し、自治体が財源補てんをしなくなれば、国の福祉切り捨てを追認し、国保料値上げにつながる危険があります。

国保での一般会計繰り入れ削減にたいし、議会で正面から論戦しているのは日本共産党しかありません。いっしょに暮らしを応援する政治に転換しましょう。

日本共産党国政報告会

党副委員長 山下よしき参院議員が講演



生涯学習センターで開かれた国政報告会

倉林明子参院議員
森下よしみ府会議員
党市議団4人が報告
日本共産党は9日、日本共産党国政報告会を開き、150人が参加しました。
報告会では、山下よしき党副委員長・参院議員が、公文書偽造・隠ぺいを繰り返す安倍政権を告発。野党が協力して追及していること、朝鮮半島の平和をめざす動きなどを報告。倉林明子参院議員、八幡市議団から4人全員が各議会で質疑、活動などを報告しました。